

## ●平成17年度日本生理学会第2回常任幹事会議事録

日 時：平成17年12月3日午後1時～5時

会 場：損保会館（東京）

出席者：青木 藩，赤池 忠，香山雪彦，明間立雄，板東武彦，岡野栄之，川上順子，佐久間康夫，篠田義一，本間生夫，宮下保司，持田澄子，伊佐 正，久場健司，福田敦夫，水村和枝，大森治紀，津本忠治，松尾 理，丸中良典，辻岡克彦，徳田雅明，前田信治，今永一成，小杉忠誠，吉村 恵，久保義弘，岡田泰伸，金子章道，倉智嘉久，栗原 敏，野間昭典（JJP編集委員長），松田哲也（若手の会代表），小澤瀨司（次期大会長），鯉淵典之（次期大会事務局長）

欠席者：泉井 亮，城所良明，今泉和彦，渋谷克栄，西野仁雄，能勢 博，小泉 周

### 報告及び協議事項

1. **会長代行挨拶**：岡田会長代行から出席者に対し日頃の学会運営に対する謝辞が述べられ，本日の常任幹事会において，会員委員会からの地区代表常任幹事数改訂に関する提案，法人化委員会からの生理学会法人化の提案，将来計画委員会からの学会執行部の新選出法の提案などの重要事項の審議をお願いするようになるとの本会議の内容の紹介と協力要請が述べられた。

2. **庶務業務**：岡田会長代行から，会員数に関して平成17年11月末日現在で一般会員3357名，特別会員27名，名誉会員10名，準会員118名，賛助会員18名であることが報告された。また2名の特別会員と4名の評議員の御逝去に対して弔意が述べられた。ノバルティス科学振興財団の研究集会助成候補者として吉村由美子氏を推薦したこと，5件の研究集会等への後援・協賛を行ったことが報告された。

3. **編集・広報委員会報告**：岡田編集・広報幹事から，本委員会の開催状況，日本生理学雑誌の編集状況，PSJ-Webの更新状況及び外注リニューアル進行状況が報告され，Vision，各種委員会報告，Science Topics記事執筆者候補推薦に関する協力依頼があった。

4. **JJP編集委員会報告**：野間委員長からJJP編集・発行状況について報告があった。JJPからJPSに移行する平成18年1月より岡田泰伸委員が編集委員長の任に就くこと，生物物理担当エディターが葛西道生委員から曾我部正博委員に交代することが報告

された。また，JPSキックオフシンポジウムの準備状況が報告され，JPS誌の表紙案が紹介された。

5. **財務報告**：本間財務幹事から平成17年度会計の（1月1日から11月30日の）中間報告，各種積立金，基金の現状報告が行われ，本年度に限り新たに発生したJJP購読料徴収の状況説明が行われた。

6. **法人化委員会報告**：本間委員長から学会法人化に関する検討状況が報告された。その必要性とメリットが述べられ，法人化の方法のいくつかの具体案が比較紹介され，中間法人日本生理学会の設立の方向が提案され，了承された。

7. **会員委員会報告**：持田委員長より本委員会の協議状況が報告された。また常任幹事定員の地区別会員数に見合った見直しの提案が行われ，審議の結果，東京地区7名を5名とすることとなった。更には，特別幹事常任幹事選出基準として，若手，女性に加えて医学生理学以外の分野・所属を考慮してほしいとの要望が出され，承認された。特別会員として，江橋節郎氏，佐藤昭夫氏が推薦され，審議の結果，承認された。最後に，新会員獲得と消滅会員防止の方策に関する検討結果の報告が行われた。

8. **教育委員会報告**：松尾委員長から，MCQ問題集発行，群馬大会モデル授業，モデル・コア・カリキュラム改定提言などに関する準備状況が報告された。医師免許以外の国家試験問題の生理学的記載に誤りが多いこと，高校の生物学教科書に生理学的知見の記載が少ないことなどの問題が指摘され，今後その対策を検討していくこととなった。

9. 学術・研究委員会：久保委員長から、2006年群馬大会への教育講演、シンポジウム、Named Lectureに関する企画が提案されたこと、2007年大阪大会における解剖学会との相互乗入シンポジウムなどの交流を依頼したこと、委員を2名追加したことが報告されたNamed Lectureの今後の扱いが議論され、田原、荻原両氏を冠したものを今後も継承していくことが了承された。

10. 研究倫理委員会報告：板東委員長から、動物愛護管理法の改正案が公布されたこと、これに伴い生理学会を含む動物実験関係団体からのヒアリングが文部科学省ライフサイエンス課で行われたこと、実験動物輸入規制に関しては高度な衛生管理が行われている場合には個々の施設の輸出国政府による指定は不要となったことが報告された。

11. 将来計画委員会報告：前田委員長より、日本生理学会の執行部の選出方法に関する委員会案が提出された。その骨子は、①会長の公選（評議員による選挙）と任期4年、再任不可、②次期会長の任期満了1年前の選出・決定、③2名の副会長（任期4年）の会長による指名と常任幹事会での承認、の3点であり、そのタイムテーブルとしては、①は平成18年度中、②は平成19年度春の総会、③は平成19年度秋の常任幹事会で実施され、そのための会則改定は平成18年度春の総会で行う必要があるという案が提出された。会長候補者の推薦方法など、細部の提案を待って、継続審議することになった。また、「生命の理（いのちのことわり）：生理学教育と研究における問題と提言」をとりまとめ、日本生理学雑誌、学会Webに掲載されることが報告された。更には、各種委員会へも若手研究者を加えてほしいとの要望がなされた。

12. 男女共同参画推進委員会報告：水村委員長から、仙台大会、群馬大会における第1、2回男女共同参画シンポジウムの開催状況及び企画状況が報告された。また、男女共同参画学協会連絡会における活動状況や、アドバイザー制の開始状況が報告された。

13. 賞選考委員会報告：久場委員長から、平成18年度奨励賞への応募は4件であったことが報告され

た。また、グループディナー賞を学会賞の1つとして位置付け直すという提案を次回行う方向で検討中であることが報告された。

14. 若手の会運営委員会報告：松田委員長から、現在の会員数が560名であること、仙台大会での若手の会シンポジウムの開催状況、平成17年8月のサマースクールの開催状況、群馬大会での若手の会シンポジウムの準備状況が報告された。また、サマースクールにおいて若手20名の学会入会を受け付けたことが報告された。若手の会運営委員に次大会、次々大会の大会長が委員を1名推薦することが提案され、常任幹事会で承認された。

15. IUPS2009組織委員会報告：宮下会長より第8、9回組織委員会の開催状況、岡田副会長より総務委員会の活動状況及び1st Circularが発行されたことの報告があり、倉智副会長よりプログラム委員会の活動状況及び1月20-21日に国際プログラム委員会開催予定の報告があり、栗原財務委員長より財務委員会の活動状況及び支援資金募金の中絶と再開予定の方針が報告された。順調に取組準備が進んでいること、しかし財政状況が厳しいことが報告され、会員からの種々の取組への参加・協力が要請された。

16. 日本学術会議報告：金子旧研連委員長より第19期は2005年9月で終了し、10月から新体制となったこと、宮下新会員より新体制の立ち上げ状況が報告された。

17. IUPS報告：金子会長よりIUPS Long-Range Planning Committee (LRPC) が立上がったことの報告があった。

18. FAOPS報告：金子理事より、今回のFAOPS Congressが2006年10月15—18日にSeoulにて開催予定であり、日本からの多数の参加が期待されていることの報告があった。11月以降の新理事候補の推薦の依頼があった。

19. 第83回日本生理学会大会（群馬大会）準備状況報告：小澤大会長より、2006年3月28—30日に群馬県民会館と前橋商工会議所で開催される群馬大会の準備が順調に進んでいることの報告があった。

20. 第82回日本生理学会大会（仙台大会）報告：

丹治大会長より文書で1621名の参加を得て成功裡に終了したことが報告された。

21. 地方会からの報告：中四国，東京，九州，近畿，中部からの地方会開催状況が報告された。

22. 2009年生理学会大会長について：IUPS2009

と同時開催される第86回日本生理学会大会の大会長として丸中良典教授（京府医大）が決定された。

23. 前回の議事録の承認：前回の議事録が承認された。

## ● 会員委員会活動報告

委員長：持田澄子

委員：鍋倉淳一，神谷温之

### 1. 常任幹事定員数の見直し

平成17年10月1日現在の地区別会員数を検討した結果，地域別の会員数と常任幹事定員数にアンバランスがあることが判明したので，地区別会員数に見合った定員数とするために「東京地区7名を5名とする」ことを常任幹事会に提案した。また，生理学会の賦活化のために，若手，女性に加えて，「所属／分野等を考慮した特別枠の常任幹事を選出する」ことを常任幹事会に提案した。これらの提案は，平成17年度第2回常任幹事会及び平成18年総会で承認された。

### 2. 評議員の選考

平成18年度評議員候補者43名の選考をおこない，全員が評議員としての資質を満たすと判断して平成18年度常任幹事会に報告し，常任幹事会及び平成18年総会で承認された。

### 3. 日本生理学会会員数の推移の検討

平成17年度第2回常任幹事会において，新しい会員の獲得と消滅会員をいかに防ぐかを委員会で検討した結果を報告したところ，日本生理学会大会と会員数の推移を調べることとなり，昭和61年総会（山形）から平成17年総会（仙台）を調査して，平成5年総会（甲府）をピークとして増加していた会員数が減少していること，特に平成11年総会（長崎）大会からの減少が顕著であることを平成18年度常任幹事会及び総会で報告した。

### 4. ポスター掲示

日本生理学会への会員の関心を高めていただくために，平成18年総会において，「日本生理学会を考えよう」と題して平成17年10月1日現在の地区別会員数，日本生理学会会員数の推移，平成11年度会員名簿にある所属別会員数をポスターで掲示した。

（持田澄子）

## ●学術・研究委員会議事要旨

日 時：平成18年3月27日 午前10：30～12：30

場 所：商工会議所（前橋）

出席者：伊佐 正，今永一成，大森治紀，小澤滯司，久保義弘（委員長），倉智嘉久，白尾智明，山田武範，  
山本 隆，狩野方伸（オブザーバー）

欠席者：青木 藩，小西真人，丹治 順

### 議事要旨

1. 学術研究委員会の次期委員長候補者について：  
次期委員長候補者について、委員会の継続性を考慮し、現委員会のメンバーであることと、平18-19年度の常任幹事であることを条件として検討した。その結果、群馬大会のプログラム委員長でもある白尾智明氏を、常任幹事会および執行部に対し、次期委員長候補者として推薦することにした。

2. 英語化に関するアンケートの実施について：学術研究委員会では、IUPS2009へ向けて、また、広く海外からの参加者を受け入れることのできる態勢をつくり、生理学会大会の国際化・高度学術化を進めていくために、生理学会大会の英語化とその具体的なスケジュールを提言してきた。そして、そのアウトラインに従い、福岡・札幌・仙台・群馬大会において、英語化の導入が進められてきた。今後の方向を考え、問題点があればそれを浮き彫りにして、大きく後戻りすることなく解決するにはどうすればよいかを考えるために、群馬大会の会期を含む期間中に、e-mailと印刷用紙配布を併用して英語化に関するアンケートを実施することになった。この点を常任幹事会においても報告すると共に、回答への協力を依頼することとした。とりまとめの実務は、現委員会が行うこととした。

3. 大阪大会（2007）について：山本大会長、狩野プログラム委員長から、大阪大会の計画と準備状況について報告を受け、毎回行われているシンポジウムや、Named Lecture（田原、萩原）等が、継続性を持って計画されていることを確認した。他学会との相互乗り入れシンポジウムについては、その意義や目指すところが明確でないという指摘がなされ、今後、生理学会と生理学の立場を明確にして進める意識を持つことが必要であるという意見が出された。

### 4. 次期委員会に対する申し送り等について：

(1) 大会方針の継続性を保つために、将来の大会長等が決定次第、委員会メンバーに加えることを依頼した。また、常任幹事会にも、該当者が常任幹事でない場合には、オブザーバーとして参加を求めよう、執行部に申し入れることとした。

(2) 大会と地方会の関わり、それぞれの役割の明確化、さらなる充実をはかる方策についての検討を依頼した。

(3) 応募者数の減少による科研費・複合領域神経科学の筋生理の存続の危機的状況の打開策についての検討を依頼した。現時点では、状況の詳しい分析と、当該分野の研究者の意識調査の必要性が指摘された。

（久保義弘 記）

## ●平成17年度第3回日本生理学会教育委員会議事録

日 時：平成18年3月27日（月）10時30分～13時00分

会 場：前橋商工会議所会議室

出席者：松尾 理（近畿大）、河合康明（鳥取大）、恵良聖一（岐阜大）、岡田隆夫（順天堂大）、  
前田信治（愛媛大）、前田正信（和歌山医大）、有田秀穂（東邦大）、赤池 忠（北海道大）、  
椎橋実智男（埼玉医大）、渋谷まさと（昭和大）（順不同）

欠席者：川上順子（東京女子医大）、東 照正（大阪大）、（順不同）

議 長：松尾 理委員長

書 記：渋谷まさと

### 協議事項

1. **モデル授業**：今回の大会での実施に先立ち、医学映像記録専門業者によるビデオ撮影（+予算）の必要性が諮られ、承認された。

2. **CBT準拠生理学MCQ問題集の出版**：昨夏の合宿によるCBT準拠生理学MCQ問題集が出版されたことが報告された。今回の出版を踏まえ、医学部以外のライフサイエンスやヘルスサイエンス系学部学生を対象とした入門編の出版が必要であり、来期の委員会に引き継ぐことにした。

3. **実習ビデオ**：8編の実習ビデオが編集され、メニューやBGMが統一になったこと、また、編集した範囲では、倫理的に問題ないことが報告された。また、（その実習をやる/やらないにかかわらず、学生に提示する）教育上の有用性、また、実験手技のビデオ映像を残す有用性、医学教育全体における実験の必要性などの高いことが確認された。しかし、ある種の団体・個人の存在も無視できないことも報告され、断片的に悪用されるなど、最悪の事態を考えるべきとの慎重論もでた。当面の方策としては、全体のマスターは学会本部のみにおき、各機関の責任者へのみコピーを許す／公開用あるいは今回の大会展示用にはマイルドな部分を使用する／タイトル

ごとの大学名は発表せず、最後にまとめて貢献を表示する／研究倫理委員会の意見を求める、などが当面できる行動であるとされた。

4. 「**一步一步学ぶ医学生理学**」と**生理学会（教育委員会）との関係**：「一步一步学ぶ医学生理学」というco-medical用生理学e-learningシステムが、一応の完成に近づきつつあり、自学自習のしやすさに関して評価されていることがコーディネータから報告され、生理学会（教育委員会）と共同で提供していく可能性を含め、今後の展開が協議された。他の委員会の意向などの情報を集め、次期の委員会で引き続き検討することとなった。

### 報告事項

1. 「**生理学教育を語る会**」：教育委員会とは独立に、大会で生理学教育に関して検討する機会を多くするため、グループディナーのように集まるのもいいと考えた2名の委員が、急遽20-30名程度の「生理学教育を語る会」を開催することになったことが報告された。委員会として把握しておくべき情報が得られた場合は、委員会に報告することが確認された。

以上

## ● 2006年度 編集・広報委員会 報告

日 時：2006年3月27日 10：30～12：00

場 所：前橋商工会議所

出席者：赤須，岡田，小泉，小西，小山，佐々木，関野，高井，辻岡，美津島，村上

### 1. 2005年度活動報告

岡田幹事より，①日生誌における各委員名への専門分野の付記はそれ以外の分野を日生誌は取り上げないとの誤解を受けたのでとりやめたこと，②毎週メール委員会を学会事務担当者の協力を得て開いたこと，③日生誌の編集は7・8号まで終えたこと，④本年1月より新しい投稿規定を適用開始したこと，⑤PSJ-Webのリニューアルが12月末に完成したこと，⑥今後1年間Cognitom社と保守契約を結んだこと，⑦その更新は順調に行われ，その都度会員にメーリング配信したこと，⑧メーリングリスト（ML）の登録者を約1480名までにおよそ倍増させたこと，などが報告された。

### 2. 2006年5月までの活動方針

- 1) 日生誌編集：表紙用の図は今大会のポスターから来年6月号まで用意しておく。Lectures及びScience Topicsの執筆者を数名ずつ4月中に依頼しておく。Profile執筆者についても新任教授着任時期であるのでサーチして依頼する。
- 2) PSJ-Web：大会や地方会のWebを閉じる場合には，PSJ-Webに移管して学会財産としていただくように常任幹事会，評議員会・総会で願います。nii上ある旧版のトップページに入った場合には，自動的に新版に移行するような設定に変更する。（これまではCognitom社のみが保守契約の一部として行ってきた）新版のトップページ管理の一部（バナーを貼りかえなど）を委員も自由に変更できるように，そして英語版のリニューアルを早期に

実現できるよう，Cognitom社に保守契約の見直しと，翻訳する日本語版のコンテンツに応じた各種見積りを依頼する。

- 3) メーリング：学会会員向けの現在のメーリング配信の設定は，配信内容のタイトルが表示されず，配信者アドレスが表示されるという不都合があり，これを改善するために新MLの立ち上げが可能かどうかをCognitom社に問い合わせる。

### 3. 2006年5月以降の新委員会への引き継ぎと要望

- 1) 日生誌編集：殆どの記事については68巻9号からの編集を，表紙については69巻7・8号から，Afternoon-Teaについては69巻1号からの編集を新委員会に委ねる。
- 2) PSJ-Web：IUPS2009との関係で海外からのアクセスが多くなる英語版のリニューアルを早期にしてもらいたい。
- 3) メーリング：ひきつづき学会員の登録率を上げる努力をしてほしい。
- 4) 電子名簿：現在のシステムの問題点を整理して，より使いやすく，よりデータベース的な内容へと改善する方向を探してほしい。特に，少なくとも毎年一回定期的に全会員が更新しうる仕組みを考えて欲しい。
- 5) 委員会：委員の改選時には新旧委員が同時出席できるようにするか，半数ずつ改選する仕組みにするかして，引き継ぎを容易にできるようにしてほしい。